

会議録要旨

(1) 会議の名称	第3回南越駅周辺まちづくり計画策定委員会
(2) 開催日時	令和元年8月30日（金） 19:00～21:00
(3) 開催場所	市役所 本庁舎3階 大会議室
(4) 出席委員氏名	南保委員、下川委員、西藤委員、石原委員、岡本委員、山田委員、美濃委員、大塚委員、平井委員、河端委員、長谷川委員、三田村委員、酒井委員、龍田委員、勝木委員
(5) 欠席委員氏名	なし
(6) 出席所管課職員氏名	<p>福井県 交通まちづくり課 西野課長、産業政策課 久世参事 企業誘致課 谷川参事、観光誘客課 中嶋参事 都市計画課 白崎参事</p> <p>福井県丹南広域組合 竹中局長</p> <p>越前市 企画部 大蔵部長、藤原理事 建設部 伊藤部長、平野理事 建設部兼企画部 吉村特命監、 建設部 児玉理事 産業環境部 小泉部長 まちづくり・総合交通課 坂川課長 産業政策課 諸山課長、商業・観光振興課 黒田課長 都市計画課 三田村課長、江端副課長、廣瀬主幹</p>
(7) 会議議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 道の駅について 2 仁愛大学 アンケート結果について 3 南越駅周辺まちづくり計画について
(8) 傍聴者の数	11名
(9) 会議資料名称	第3回南越駅周辺まちづくり計画策定委員会資料

(10) 会議の内容
の要旨

(説明事項に対する主な意見)

○道の駅について

- ・ 多数ある道の駅の中から、選別される必要がある。
- ・ 採算性が重要
- ・ 団体客を引き付ける工夫が必要。
- ・ コウノトリがコンセプトであるのならば、その特徴を生かした外観・内容を考えて欲しい。
- ・ 通りの名称と、そこで行われる商業行為のイメージが一致しない。
- ・ 駅に降り立った人の流れが見えてくれば、駅と道の駅の両方が生きてくる。

○仁愛大学 アンケート結果について

- ・ 若者が求めている、ショッピングセンターという視点は必要ではないか。
- ・ ショッピングセンターやアウトレットモールを実現するためには、どのような法的手順が必要なのか。
- ・ 商業施設での一定の売り上げはあると思うが、商業施設以外の集客施設が無いと商業施設は立地しない。
- ・ 将来のことを考えた時に、自然と共生する都市がいい、というイメージを若者は持っている。
- ・ 駅に来る人が目にする風景・光景を一つの視点として持ち、どこにでもあるような都市の風景ではなく、自然豊かな風景が感じられる必要がある。

○南越駅周辺まちづくり計画について

- ・ 県が20年後を目指して作成している長期ビジョンと、南越駅周辺まちづくり計画は連動性を持たせているのか。
- ・ AI・IoTは国が進めているスーパーシティ構想とも関連し、丹南地域だけではなく福井県全体に影響するものだ。
- ・ 県域を越えて、人を呼んでくるようなものにする必要がある。
- ・ 調査もいいが、具体的に話を進める必要があるのではないか。
- ・ 企業誘致に関するアンケートを取るに当たり、具体的な条件がないと企業は回答するのが難しいのではないか。
- ・ 周辺市町との関係を捉える視点が必要。
- ・ これからの10年、中でも2025年の大阪万博までが重要である。
- ・ 文化を失わないようにしてほしい。

--	--